「三里塚御料牧場記念館」

市では、市民の皆さんに市内の施設や発展状況を紹介し、市政に対する認識と理解を深めてもらおうと、毎年4回、施設見学会を開催しています。「施設見学会紙上ツアー」では、今までに見学した施設から、好評だった見学先にスポットライトを当て、皆さんに紹介します。

＊平成26年度1回目の施設見学会が5月14日㈬に開催されます。くわしくは17ページをご覧ください。

木々に囲まれた三里塚御料牧場記念館

江戸時代、三里塚地区には、「取香牧（とっこうまき）」と呼ばれる、馬の飼育や繁殖のための放牧地がありました。明治以降には、最新式の輸入農機具を駆使するなど、先進的な農場経営が行われました。

明治半ばに、宮内庁の前身である宮内省に移管され、日本で唯一の宮廷牧場（戦後「宮内庁下総御料牧場」に改称）となり、皇室にゆかりの深い牧場として知られるようになりました。

その後「宮内庁下総御料牧場」は、長らく“桜と馬の牧場”として多くの人に親しまれてきましたが、成田空港の建設に伴い、昭和44年に栃木県に移転しました。

三里塚御料牧場記念館は、宮内庁下総御料牧場事務所の跡地に建てられています。

三里塚御料牧場記念館には、皇室関係の資料、御料牧場の牧畜機材などが保存・展示されています。皆さんも皇室ゆかりの土地で、その歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

見学したい人は

見学できる時間＝午前9時～午後4時30分
休館日＝月曜日（祝日の場合は火曜日）、12月29日～1月3日
見学料＝無料
※くわしくは三里塚御料牧場記念館（☎35-0442）へ。

住所：三里塚御料1-34

見どころを教えてください！

三里塚御料牧場記念館担当職員に聞きました

生涯学習課主査
寺内（てらうち） 博之（ひろゆき）さん

三里塚御料牧場記念館は、およそ100年にも及ぶわが国の畜産振興の実績を記録として残すために、三里塚記念公園内に建てられました。

館内には、御料牧場の歴史を学べる資料はもちろん、馬が駆け巡る牧場の光景を描いた画家の作品や、緑豊かな三里塚の自然を詠んだ文人の作品などを数多く展示しています。

また、古墳時代の馬形埴輪（はにわ）を修復して展示を始めるなど、展示資料の充実を図っています。

皇室ゆかりの馬車が払い下げられた経緯を職員が説明（平成25年7月9日の施設見学会）

編集後記

学校再編によって昨年度限りで閉校した5小学校で3月下旬、相次いで閉校式が行われました。各校それぞれに趣向を凝らし、在校生や卒業生、地元住民など大勢の人たちが学校の歴史を振り返りながら、地域のよりどころだった学びやにお別れをしました。取材する中で実感したのは、小学校と地域が共に歩んできたこと、また、一人一人の児童たちが大切に地域の人たちに育まれていることなど、学校と地域とのつながりや絆でした。

平成26年4月15日号　No.1265
成田市のホームページ
http://www.city.narita.chiba.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。

平成26年4月15日号／月2回　1日・15日発行／編集発行：成田市役所企画政策部広報課　〒286-8585 千葉県成田市花崎町760番地　電話0476-22-1111（大代表）